

校長ニューズレター(第28号・4月号) 宜野湾市立長田小学校校長:横山芳春



1000の子どもに1000の未来

～すべての子どもの可能性を開きのばす教育～

新1年生の保護者のみなさま、子どもたちが進級された保護者のみなさま、おめでとうございます。

今年度も、長田小学校では「すべての子どもの可能性を開きのばす教育」を継続します。

さて、平成23年度から新しい学習指導要領の完全実施がおこなわれます。

ところで学習指導要領とはなんでしょう。

これは、学校が教える内容を、学校教育法施行規則をよりどころに文部科学省が定めたものです。今回で戦後8度目の改訂です。

文科省は、新しい指導要領を「ゆとり教育」か「詰め込み教育」かではなく「生きる力」をはぐくむ教育とし、基礎的な知識や技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を強調しています。昭和50年代の改定から減りつづけてきた授業時間はおよそ30年ぶりに増加します。小学5、6年生に「外国語活動」の時間も創設しました。

本校では、授業時間の増加を受けて、昨年度に3年生以上は週1時間の授業時間を増やしました。今年度は、1年生と2年生の授業時間を週1時間増加しました。

教科書の分量はおよそ6年間で30%ほど増えています。

沖縄タイムスにつぎの記事(3月31日)がでました。

「約30年ぶりに授業時間数が増す新学習指導要領。学習内容は増える一方、『ゆとり教育』で導入された週5日制の枠は変わらない。---内容増に伴い、今後さらに試される授業力。『今だからこそ各教科の研究会が重要になってくる』と

強調する男性教諭。学年や学校単位で、教諭同士の横のつながりを密にする大切さをかみしめている。」

保護者のみなさま、ご安心ください。

本校では、授業力の向上に向けて、昨年度に引きつづき授業研究を学校づくりの大きな柱にし、努力してまいります。川嶋環先生をはじめとする共同研究者に去年と同様に参加してもらい、学び合いをお願いしています。

本校の先生方は、研究授業を各自1回ずつおこない授業力を磨きます。これは講師招聘研修会でおこないます。

さらに、学校公開研究会を10月と12月に教育関係者対象に開催してまいります。同業者に自分の授業をみてもらいます。野球でたとえると、研修会での授業研究が日頃のトレーニングや練習試合とすると、学校公開研究会は県大会や大げさに言うと甲子園大会のようなものです。子どもたちや先生たちは、大きな大会を経験することでずいぶん成長します。

こういった公開は、学ぶことに謙虚な先生たちだから出来ることなのです。素直に心を開いて、自分の授業を公開する。簡単にはできないことです。自分の仕事ぶりを公開するのですから。本校の先生方の謙虚な態度は、なんとか子どもたちを成長させたいと言うことの一点から湧き出てくるものと思います。

平成23年度、新しい学習指導要領の完全実施と授業力向上に取り組む本校の学校づくりにご理解いただければと存じます。

本年度もよろしくお願い申し上げます!